



国土交通省 北海道開発局
網走開発建設部

出前講座

News Letter

2019



川の防災学習会 in 北見市立小泉小学校

「災害図上訓練【DIG】」実施レポート

■開催概要

令和元年 10 月 31 日（木）、北見市立小泉小学校において、6 年生 3 クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

小泉小学校では、平成 20 年度より 4～6 学年を対象として「川の環境・防災学習会」を総合的な学習の時間において実施しており、最終年となる 6 年生では「ミズから（自ら・水から）身を守る防災」として災害図上訓練（DIG*）を実施しています。



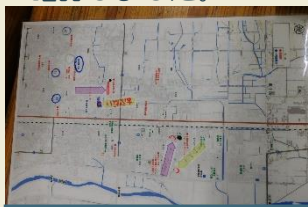
今年発生した台風被害を説明する様子

■実施内容



実際に被災地で撮影された動画

学習会では、初めに今年 10 月に発生した台風 19 号の影響を話題として取り上げ、児童の皆さんとその時体験したことを思い出し、災害時の大変さを共有しました。また、水害のイメージを共有するため、2015 年台風 17 号及び 18 号による当時の被災動画を提示し、災害の恐ろしさを再確認しました。



作成した地図の一例。危険箇所の理由も書き入れ整理しました



災害時のポイントを説明



2～3 人のグループで作業します

その後、用意した地図へマーカーペンを使い、自分の家や大雨が降った時の危険箇所などを記入し、住んでいる地域の特徴を洗い出しました。

DIG では、「一人で家にいるときに大雨による災害が起こったら」という想定で、身の回りで起きている状況の把握や避難所までの道順など、様々な課題について、これまで学んできたことを思い出しながら災害時の最善な方策を考えました。「避難持出品」の準備にも挑戦し、何が必要なのか、どれぐらいの荷物になるのかを体感してもらいました。



まず、避難の時に何が必要なのかチェックリストを作成します



持出品を詰めます



チェックリストで持出品を確認



用意した持出品をみんなで確認し、良い所・変える所を話し合いました



授業の最後では「水害から身を守るために、普段からどんなことを心掛けて生活すると良いか」を考え、数人から発表してもらいました。これをきっかけに災害に対する備えを確認しました。

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町 71 番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】 0157-23-6118 【FAX】 0157-23-6126

*訓練参加者が小グループで地図を囲み、地域の危険度などを書き込みながら災害対応の検討を進める訓練のこと。Disaster Imagination Game の略



国土交通省 北海道開発局
網走開発建設部

出前講座

News Letter



川の防災学習会 in 北見市立北光小学校

2019

「マイハザードマップ」実施レポート

■開催概要

令和元年 11 月 14 日（木）、北見市立北光小学校において、5 年生 3 クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

北光小学校では、平成 18 年から 4 年生を対象に「川の環境学習会」を行っているほか、平成 24 年から 5 年生を対象とした「川の防災学習会」を実施しています。



私たちの作業装備も紹介

■実施内容

学習会では、初めに 2016 年 8 月に北海道を襲った台風の影響を話題として取り上げ、児童の皆さんとその時体験したことを思い出し、災害時の大変さを共有しました。

その後、授業の前半では、無加川の洪水前後の写真を見比べてもらい、洪水時の川では何が起きているのか皆で考えました。



無加川洪水前後の比較

また、台風災害による被害や水位上昇の様子、平成 20 年 7 月に兵庫県都賀川で発生した水難事故の様子を動画や写真などで確認し、その場が晴れていても上流で雨が降っていると川の様子は変化することなどを学びました。



洪水の時の川はとっても危険!!

その後、^{ないすい}内水氾濫（川から水があふれないのに街が浸水）・地下浸水（水圧でドアが開かない）・竜巻（強い上昇気流による激しい突風）の模型を見学してもらい、積乱雲などの下で見られる大雨や風の災害を確認してもらいました。



内水氾濫装置

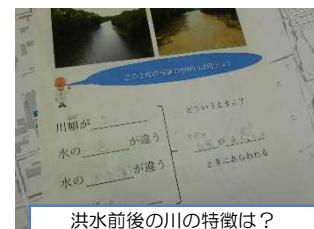


竜巻装置

授業の後半では、各班に用意した大きな地図で通学路周辺の水が集まりそうな場所や大雨が降った時に危険だと思う場所などを記入した「マイハザードマップ」を作成。クイズ形式で小学校周辺の地形の特徴や北見市より各戸配布されているハザードマップを使って洪水時の避難所や防災情報の入手方法について確認しました。



話し合いながらの地図作り



洪水前後の川の特徴は？



クイズを交えて地域を知る！



浸水図を被せて危険箇所確認

この学習機会でも、災害を身近でも起こる可能性があることを理解してもらえたらと思います。

～知って得する気象の情報～

気象庁では、平成 29 年から中小河川における洪水災害発生の危険度の高まりを色分けで表示した「洪水警報の危険度分布」が提供されています（今年関東・東北を襲った台風報道で活用されていましたね！）。

天気予報などの気象の情報を自分でこまめにチェックし、災害に巻き込まれないようにしましょう。

出典：国土交通省気象庁 ホームページより



出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町 71 番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】0157-23-6118 【FAX】0157-23-6126



国土交通省 北海道開発局
網走開発建設部

出前講座

News Letter



川の防災学習会 in 北見市立小泉小学校

2019

「マイハザードマップ」実施レポート

■開催概要

令和元年 11 月 19 日（火）、北見市立小泉小学校において、5 年生 3 クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

小泉小学校では、平成 20 年から 4～6 年生を対象に「川の環境・防災学習会」を実施しています。



私たちの作業装備も紹介

■実施内容

学習会では、初めに 2016 年 8 月に北海道を襲った台風の影響を話題として取り上げ、児童の皆さんとその時体験したことを思い出し、災害時の大変さを共有しました。

その後、授業の前半では、常呂川の洪水前後の写真を見比べてもらい、洪水時の川では何が起きているのか皆で考えました。

また、台風災害による被害や水位上昇の様子、平成 20 年 7 月に兵庫県都賀川で発生した水難事故の様子を動画や写真などで確認し、晴れていても、上流で雨が降っていると川の様子は変化することなどを学びました。



ハザードマップ活用した授業！

その後、^{ないすい}内水氾濫（川から水があふれないのに街が浸水）・地下浸水（水圧でドアが開かない）・竜巻（強い上昇気流による激しい突風）の模型実験を見学。積乱雲などの下で見られる大雨や風の災害を確認してもらいました。



内水氾濫装置



竜巻装置

授業の後半では各班に用意した大きな地図で通学路周辺の水が集まりそうな場所や大雨が降った時に危険だと思う場所などを記入した「マイハザードマップ」を作成。クイズ形式で小学校周辺の地形の特徴や北見市より各戸配布されているハザードマップを使って洪水時の避難所や防災情報の入手方法について確認しました。



「水深 3m ってどれくらい？」…教室の天井でした。みんな衝撃！！



グループで話し合いながら地図に書き込んでいます



身近にある避難場所や危険箇所を確認しました



この学習で、災害を身近なものとして理解してもらえたらと思います。

～知って得する 防災に関する情報～

全国各地で毎年のように水害が発生しており、今年も関東から東北にかけての広い範囲で大きな台風被害が発生しました。

災害から身を守るため、自らが最新の情報を収集し避難行動へつなげることが効果的です。最新の河川水位などの情報は、インターネットのほかテレビのデータ放送でも確認できます。避難行動のためにご活用ください。



データ放送を使ってみよう！

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町 71 番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】 0157-23-6118 【FAX】 0157-23-6126